

|  |   |                 |         |
|--|---|-----------------|---------|
| IRT(インフォメーション・アンド・ロボット・テクノロジー)と看護・介護<br>IRT(Information & Robot Technology) for nursing and care |   | 配当学年            | 1～4年    |
|  |   | 開講学期            | 前期・集中講座 |
|  |   | 単位数             | 1       |
|  |   | 単位区分            |         |
| 担当教員   | 富山県立大学工学部<br>教授 大島 徹, 小柳健一<br>唐山英明<br>講師 上村一貴, 森重健一<br>本吉達郎<br>富山県立大学看護学部<br>講師 青柳寿弥<br>日本福祉力検定協会企画室<br>室長 長田奉公   | 関連する<br>学習・教育目標 |         |
| 授業の目標  | 人に優しい看護や介護を目指した情報技術やロボット技術に関わる幅広い知識を習得するために、情報技術やロボット技術について理解を深め、看護や介護との関係を考え、看護や介護の未来像を描く。   |                 |         |
| 学生の到達目標  | ① 看護や介護と工学のかかわりを理解できる。<br>② 情報技術やロボット技術の基礎を理解できる。<br>③ 工学技術の支援による看護や介護の未来像を描くことができる。  |                 |         |
| 授業計画   | ① ガイダンス／IRT(インフォメーション・アンド・ロボット・テクノロジー)の概要(大島)<br>② 看護学と工学の連携／生活支援と情報(青柳)<br>③ 介護学と工学の連携／ヘルスリテラシーの基礎(上村)<br>④ 情報技術と看護・介護①／脳とロボットを繋ぐテクノロジー(森重)<br>⑤ 情報技術と看護・介護②／看護・介護技術の評価事例(唐山)<br>⑥ ロボット技術と看護・介護①／福祉用具から福祉ロボットへ(長田)<br>⑦ ロボット技術と看護・介護②／知識・技能の実装(本吉)<br>⑧ まとめ／IRTと看護・介護の課題(小柳) |                 |         |
| キーワード  | 介護、看護、情報、ロボット、IRT   |                 |         |
| 成績評価法  | レポートによって評価する。   |                 |         |
| 成績評価基準   | レポート(100%)  |                 |         |
| 教科書・教材参考書等   | 必要に応じて講義資料を配布する。  |                 |         |
| 関連科目・履修条件等   | これまでの教養・専門基礎科目を標準的に履修していることが望ましい。   |                 |         |
| 履修上の注意事項や学習上の助言  | 理解した内容に自らの考えや主張を加え、レポートにまとめること。   |                 |         |
| 学生からの質問への対応方法  | E-mail: oshima@pu-toyama.ac.jp  |                 |         |